

記者発表資料

大学生を対象にした橋梁点検の現地体験会を開催 ～ 未来の土木技術者が橋梁点検を体験 ～

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設の老朽化対策が課題となっており、全ての道路管理者がその対応に取り組んでいます。

今回、土木技術者を目指す宇都宮大学の皆さんに、橋梁点検を体験し、道路施設の老朽化対策の重要性を学習して頂くことを目的に現地体験会を開催します。

なお、「栃木県道路メンテナンス会議」ではその活動の一環としてメンテナンスの必要性を周知する活動を行っています。

1. 開催日時： 令和元年10月31日（木） 13:20～15:30（小雨決行）

2. 開催場所： 国道4号 きゅうぶこうかきょう とちぎけん うつのみやし いしいまち 久部高架橋（栃木県宇都宮市石井町地先）

3. 参加者： 宇都宮大学 学生等 20名程度

4. 内 容： ①高所作業車による上部工の近接目視点検、打音検査
②脚立及び地上から近接目視による橋脚・支承部の点検
③コンクリートの試験の見学及び体験
④磁粉探傷試験の見学

報道機関の皆様へ

- 取材される場合は、前日の10月30日（水）17時までに下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ

神奈川建設記者会

栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

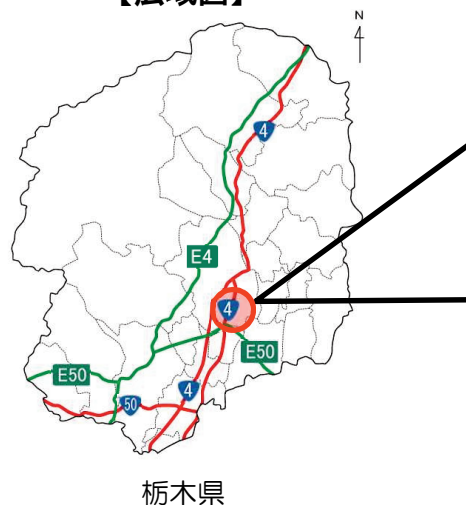
国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所

副 所 長 岡野 稔（おかのみのる）

道路構造保全官 秋田 直樹（あきた なおき） TEL028-639-5256

～開催場所（国道4号 久部高架橋）について～

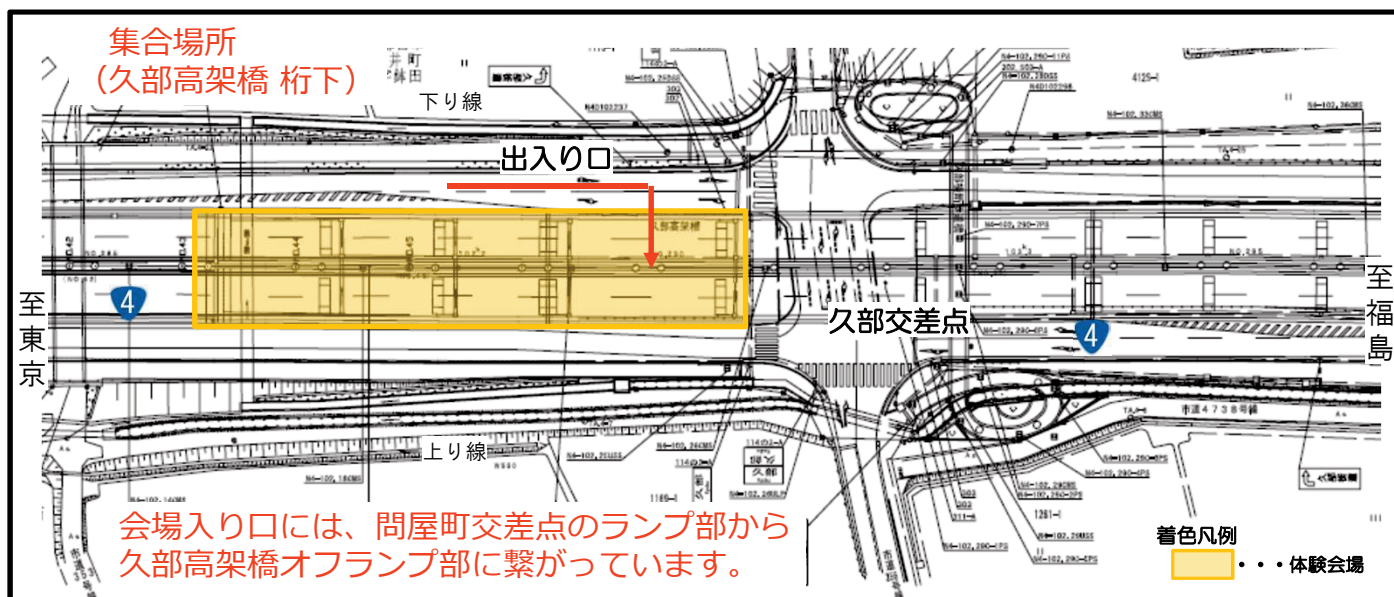
【広域図】



【位置図】



【現地案内図】



体験内容

講習① 高所作業車による上部工の近接目視点検、打音検査		安全対策
【概要】 高所作業車に乗り、床版の損傷やうきの有無を打音検査により確認する。また、安全帯の着用方法、点検ハンマーの種類の説明を行う。橋脚支承の構造、機能について学ぶ。 【使用機器】 高所作業車(スーパーデッキ)1台、点検ハンマー3個 パールハンマー3個、石刃ハンマー1個		・桁に頭を打つけないよう昇降設備の移動に注意 ⇒担当者の合図に従う ・安全帯を必ず着用
講習② 脚立及び地上から近接目視による橋脚・支承部の点検		安全対策
【概要】 脚立及び地上から近接目視による橋脚、支承の点検を行う。また、クラックゲージでのひび割れ幅計測体験を行う。 【使用機器】 クラックゲージ		・地盤の凹凸によって足を捻(ひね)ったり、転倒したりしないよう注意 ⇒常に足元に注意を払う
講習③ コンクリート試験の見学及び体験(中性化試験、強度試験、鉄筋探査)		安全対策
【概要】 RCレーダーやシュミットハンマーを実際に操作し、非破壊検査を体験する。また、コンクリートの中性化試験として、フェノールフタレイン溶液を使用した試験の実演を見学する。 【使用機器】 RCレーダー1台、シュミットハンマー1台 フェノールフタレイン溶液等1式		・シュミットハンマーは壁面に直角方向に当てるように注意して使用(両手で固定)
講習④ 磁粉探傷試験の見学(鋼材の亀裂検出)		安全対策
【概要】 鋼材の亀裂を模擬した供試体を用いた磁粉探傷試験の実演を見学し、目に見えない亀裂の有無を検出するための試験法について学ぶ。 【使用機器】 磁粉探傷試験機1式		・実演の見学時に前列の人を押さないよう注意して見学⇒分散して見学